

が生活を一変させるのを目  
の当たりにして、研究しよ  
うと思った」と話す。

現在、研究の意義が認め  
られて北里大の全面支援  
を受けているほか、各地の  
大学やがん関連施設と研  
究協力。CFが成功すれば、  
製薬企業などと連携して  
血液検査キットの技術開  
発と製品化を進める。25年

度までに診断法を確立し、  
30年代前半のがん予防ワ  
クソン開発を最終目標とす  
る。

福山さんは「血液検査な  
ら健康診断のついでに調べ  
ることもできる」と話す。  
本県のがん検診の受診率が  
低いことに触れ「秋田県出  
身者がこうした研究をして  
いると知ってもらい、まず

はがん検診に行こうとい  
う気になってもらえればうれ  
しい」と話す。

CFは4月23日午後11時  
まで。目標金額は570万  
円。内容や支援方法などの  
詳細は、CFサイト「RE  
ADYFOR（レディーフ  
ォー）」内のプロジェクト  
ページで確認できる。

（小松田直嗣）

ことを仕事にできないかと  
考え、1985年に開業し  
た。

「1人目の子どもを出産  
した時、家政婦を頼んだら  
プライバシーに関すること  
を詮索され、身の上話も聞  
かされてストレスを感じ  
た。この体験を基に、スト  
レスを相手に与えない対応  
やマナーを考え、マニユア  
ル化した」と振り返る。

開業当初は家事代行業が  
珍しかったため、認知して  
もらうのに苦労したとい  
う。心の支えになったのは  
「世の中のためになるいい  
仕事だ。理解者の力も借り  
て頑張り」と励ましてくれ  
た父の言葉。営業活動のた  
め住宅街を連日巡り、チラ  
シを配って歩いた。

「依頼主から初めて家の  
鍵を預かった時の重みは今  
も忘れられない。家事はと  
ても大変で価値のあるも  
の。主婦の苦勞や頑張り  
を誰もが理解する社会にな  
ろう、頑張って仕事を続け  
ていきたい」と話す。杉並  
区在住。

（小松嘉和）

## あきた人

### 家事代行営み36年

湯沢市出身の澤智子さん

### 「美しい所作」好評



東京都杉並区で家事代行  
業「オアシス」を営む社長  
澤智子さん(65)は旧姓富  
澤、写真には湯沢市柳町出  
身。専業主婦の経験を生か  
して36年前に起業、一般住  
宅の清掃を柱にした家事支  
援のサービスを提供し好評  
を得ている。

きれいに仕上げる。食器洗  
いや洗濯物のアイロンがけ  
にも対応。予算に合わせて  
訪問頻度を変えるなどオー  
ダーメイドのサービスを売  
りとしている。

「掃除機をかける時は壁  
にぶつけず丁寧に、拭き掃  
除もがさつにやらずきっち  
りと。そういう『美しい所  
作の掃除』を心掛け、ホテ  
ルの部屋のような仕上がりを  
目指している」。こうし  
た姿勢が高評価を受け、顧  
客が新たな顧客を紹介する

流れが続いているという。  
雇用するスタッフは約30  
人。半数以上は勤務歴10年  
以上で、20年を越すベテラ  
ンもいる。急な発熱などで  
子どもの面倒を見る必要が  
生じたスタッフは迷わず休  
ませ、別のスタッフで補い  
合うのが基本だといいい、2  
016年度に区から子育て  
優良事業者表彰を受けた。

湯沢北高(現湯沢翔北高)  
を卒業後に上京。子育てや  
家計管理、近所付き合いな  
ど専業主婦として経験した